

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	体育指導委員会支援事業	所管	教育委員会教育総務部 生涯スポーツ課
			TEL 2998-9248

事業の目的 (何の為に 行うか)	実技指導や助言、組織育成を行い、市民に対しスポーツへの理解を深めてもらう。また、地域の行事や活動、スポーツ団体活動へ積極的に協力し、市民の体力・生活の向上を図る。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	体育指導委員	対象とした数	109	人
		実際に 利用した数	2,690	人

活動の内容	(何を したか)	①市民に対してスポーツについての理解を深めてもらう。 ②市民に対してスポーツの実技指導を行い知識や技術を習得してもらう。 ③気軽にスポーツ活動を行なえるよう、活動促進のための組織の育成を図る。 ④教育機関や地域の行なうスポーツ行事又は事業への協力を行なう。 ⑤スポーツ団体等が行なうスポーツに関する行事への協力を行なう。							
	活動実績	項目名	体力づくり大会及び 実技講習会等への 積極的な参加	461 ----- 単位 人	項目名	県・全国体育指導 委員会主催研究会 への参加	62 ----- 単位 人	項目名	体力づくり大会競技 参加者数

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	6,877	5,228	8,328	24.6

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	講習会等参加率	今年度参加者数÷前年度参加者数	105 ----- 単位 人	116 ----- 単位 人	110.5 ----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕	-----	終了 ⇒ 事業完了 終了 休止	-----
		* 現状どおり	増額	減額	終了
	予算	* 現状どおり	増額	減額	終了

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕	-----	終了	-----	終了
	予算	* 現状どおり	増額	減額	終了	

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	120400	TEL	2998-9248
事業コード	120416		教育委員会教育総務部 生涯スポーツ課			
開始年度		昭和 46 年度	—	終了年度	平成	年度
体育指導委員会支援事業		グループ				
		スポーツ振興				

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令			
	分野別計画・指針				スポーツ振興法			
	関連・類似事業	総合型地域スポーツクラブ支援事業・スポーツ教室開催事業						
	総合計画の体系	政策	第4章 いきいきと学び 人・文化をはぐくむまち	施策	6節 生涯スポーツ	中柱	1 生涯スポーツ環境の充実	小柱

③事業の内容	行政改革大綱における行動計画への位置づけ		・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 24 位		・実施計画における位置づけ… H19 *** H20 ***	
	コード	3261	コード		コード	
	事業開始の背景	スポーツ振興法が昭和36年に制定され、本市においても市民の文化生活上等の観点から、スポーツ活動に対するニーズが高まってきた。昭和46年にスポーツ振興法第19条2項の規定に基づき所沢市体育指導委員に関する規則を制定し、もって本市のスポーツ振興に寄与するために事業が開始された。				

④前年評価と改善点	目的(何のために行か、具体的に)					
	実技指導や助言、組織育成を行い、市民に対しスポーツへの理解を深めてもらう。また、地域の行事や活動、スポーツ団体活動へ積極的に協力し、市民の体力・生活の向上を図る。					
	対象(誰を、何を対象としているのか)					
	体育指導委員					
⑤経費	対象数		単位		利用数の考え方	
	平成 18 年度		110 人		各種大会等申込者	
	平成 19 年度		109 人		平成 18 年度 2,699 人	
					平成 19 年度 2,690 人	

⑥指	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>					
	総合評価 <input type="checkbox"/> 事業の継続 => (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])					
	<input type="checkbox"/> 終了 => (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)					
	予算 <input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					

⑦一次評価	《会計種別》		一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算				6,877	7,021
	決算(見込み含む)				5,228	
	(嘱託職員)(臨時職員)		(人) (人)	(人) (人)		
	正規職員人件費		人	0	0.33 人	3,100
	公債費					
	事業費合計			0	8,328	
	財源内訳		一般財源	0	8,328	7,021
			国・県支出金			
			受益者負担金			

市民一人当たり(単位:円)	0.0	24.6
利用数一単位あたり(単位:円)	0.0	3,095.9

⑧二次評価	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	体力づくり大会及び実技講習会等への積極的な参加	各事業の参加者数(延べ)	人	489	461	490	600
		県・全国体育指導委員会主催研究会への参加	各研究会参加者数(延べ)	人	53	62	80	100
		体力づくり大会競技参加者数	参加人数(延べ)	人	2699	2690	2800	
成果分析	講習会等参加率	今年度参加者数÷前年度参加者数	人	目標値 105	105	105		
			%	実績 92	116		実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2 1	
			%	達成率 87.6	110.5			

⑨個別計画における方向性	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
		類似・関連事業などとの整理・統合		受益者負担の有無	見直しの必要性
他事業との整理・統合	<input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	関係	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

⑩二次評価	明らかなった課題	現在行なっている事業については、毎年度内容及び運営について、理事会等の場で改善を行いPDCAサイクルを意識した活動を行なっているが、今後は、より幅広い市民へのスポーツ参加を目指し、内容の精査を行なって生きたい。		
	次年度目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	
		体育指導委員の資質向上を図るために、本市での講習会他、県・国等の研修会への参加を行なう。	前年度の参加者数からの増加を目指し、また多くの体育指導委員が参加できるような形を整える	H21.4
	実施事業の改善を進める。	事業内容の見直しを常に行い、より市民が気軽に参加できるように調整するとともに、運営についても合理的に行なえるようにする。	H21.4	

⑪二次評価	平成21年度における事業の方向性	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了			
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
	評価理由				
	評価日				

⑫二次評価	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し		計画コード	
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し		計画コード	
	基本目標				
	主要課題				

施策の体系	実施の方向
-------	-------